

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（若手研究）

研究代表者 所属・職名 附属中学校・教諭

氏 名 仙田 健一

研究期間 令和 2 年度

| | |
|---|--|
| 研究プロジェクトの名称 | 社会科教育における「21 世紀を生き抜くための能力」に関する実践研究 ～21 世紀に必要な資質・能力を認識し、地域社会に貢献する生徒の育成～ |
| 研究プロジェクトの概要 | <p>本学では「21世紀を生き抜くための能力」に関する研究を推進している。本研究では、本学の「21世紀を生き抜くための能力」により構築された理論（志村ら2017a, b）を、学校教育現場で実証的に研究することを目的とする。具体的な実践研究として、生徒自らが21世紀を生き抜くためにどんな能力が必要なのかを認識する活動を実践の中に取り入れる。そして、生徒が認識した「21世紀を生き抜くための能力」を活用し、地域社会に貢献する活動を提案することができるのかを授業実践で検証することを本研究の目的とする。</p> <p>そこで平成 29～30 年度上越教育大学研究プロジェクト「『21 世紀型に求められる資質・能力』の理論・実践研究」報告書（代表：中平一義）のモデル教材の実践とその振り返りにより理論研究の深化を行った。その理論に基づいた教材の作成、授業実践の分析、学会や研究会での積極的な発信により新たな課題を抽出した。</p> |
| 研究 成 果 の 概 要 ※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。 | <p>(1)新学習指導要領及び、その先の教育を見据えた理論及び実践研究の実施</p> <p>中学校学習指導要領（2017 年告示）とモデル教材の実践から本研究における育成を担うべき資質・能力を「郷土愛」と「情報活用能力」と位置付けた。「郷土愛」は市民（住民）が自ら生まれ育った地域（身近な地域）に対してもつ愛着や思想、心情であり、学習指導要領に示される「我が国の国土や歴史に対する愛情」や「自国を愛し」に関連する概念である。また、「人間性」の一つである。本研究における「郷土愛」は郷土に愛情をもつ、郷土で暮らす自覚をもつことである。具体的な生徒の姿として、「郷土の魅力を理解し、他者にその魅力を説明できる（郷土のために行動する）」ことと定義付ける。さらに、郷土で暮らす自覚をもつとは“Think globally act locally. Think locally act globally”といわれるように“地球規模で考え、地域で行動する”“地域で考え、地球規模で行動する”ことである。また、自分自身のアイデンティティの一つに郷土があり、郷土の課題を主体的に追究する態度である。</p> <p>「情報活用能力」は ICT を効果的に活用すること有効であることが、文部科学省（2010）の「ICT を活用した指導の効果の調査」で示されている。学習指導要領でも「主体的・対話的な学びの過程で、ICT を活用することも効果的である」と示されている。そこで、本研究における「情報活用能力」では生徒が ICT 機器を効果的に活用できるだけでなく、その必要性に応じて、紙の地図や資料、ワークシートとの使い分けができることを含んでいる。</p> <p>(2)生徒が「21 世紀を生き抜くための能力」を活用し、地域社会に貢献する活動を提案すること</p> <p>中学校学習指導要領における地理的分野の改訂の要点に「イ 地域調査に</p> |

関わる内容構成の見直し」が示されている。特に「地域の在り方」では地域の将来像を構想することとなっている。また、歴史的分野では身近な地域の歴史を調べる学習を「一層着実に実施されることを重視している」ことが示されている。つまり、身近な地域と各単元の学習を関連付けることがより一層、重視されていることが示されている。一方、身近な地域についての社会認識が深まると地域の課題に目が行き、生徒にとっての地域の魅力が薄れてしまうという実践を散見する。そこで郷土への社会認識を深め、地域の魅力に気付くことができる地域調査と ICT の活用により、地域社会への貢献を考える活動を実践の中に位置付けた。

上記の内容と活動を取り入れた単元により郷土愛（資質）・情報活用能力の育成を目指した。

① 1 学年 地理的分野 「上越市の農業の魅力を守るためにスマート農業は必要なのだろうか～農業関係者への意識調査を行う活動を通して～」

【学びの実際】

- ・板倉区総合事務所で上越市農政課の方から上越市の農業の現状、スマート農業を推進している理由についての説明を聴講した。
- ・上越の農業の魅力について保護者へ聞き取り調査を行った。
- ・農業関係者のところへ「スマート農業は上越市の農業の魅力を守るために必要なのか」について、タクシーで聞き取りに出掛けた（以下、調査先）。

【生徒が設定した調査先の一覧】

- 1 班：あるるん畑 (JA 関連, 上越の農作物の販売), ドローンテクニカ上越 (ドローンでの農薬散布)
- 2 班：米やのコシヒカリ弁当 (自家製のお米を使った弁当の販売), えちご上越農業共同組合
- 3 班：個人農家 (米), 浦川原区物産館 (物販)
- 4 班：朝日池総合農場 (農業法人), 高田農業高校
- 5 班：上越ものづくり振興センター (物販), かなざわ総本舗 (菓子店)
- 6 班：中央農業研究センター (研究所), かまだ大手町店 (菓子店)
- 7 班：お菓子処かの子 (菓子店), 久保田農園 (農業法人)
- 8 班：花の米 (農業法人), 岩の原ぶどう園 (ワイン製造)
- 9 班：個人農家 (米生産), 朝日池総合農場 (農業法人)

- ・調べてきた情報を基にプレゼンテーションアプリを活用し、討論のために必要な資料を作成し、活発に討論を行った。
- ・上越市の農業の魅力をレポートにまとめ、観桜会で発信できるように準備した。

【生徒のアンケートと振り返り】

表 1 単元実施前の農業に関するアンケート 2020 年 9 月 29 日, n=36 人

| | | | |
|------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 農業の変化について知っていること | 機械や AI の導入に関する記述 22% (8 人) | よく分からない 78% (28 人) | |
| 農業に魅力を感じるか | 感じる 44% (16 人) | 感じない 50% (18 人) | どちらともいえない 6% (2 人) |

表 2 単元実施後の農業に関するアンケート 2020 年 10 月 24 日, n=36 人

| | | | |
|------------------|----------------------------|------------------------|-----------------------|
| 農業の変化について知っていること | スマート農業に関する記述 78% (28 人) | 高齢化に関する記述 22% (8 人) | |
| 農業に魅力を感じるか | 感じる 89% (32 人) | 感じない 11% (4 人) | どちらともいえない 0% (0 人) |

以下、単元実施後の生徒の振り返りの記述である。

生徒 A:農業の魅力と同時に、上越市の伝統・文化を学び、周りの人と共有することだと考えます。いくら良さを知っていても自分だけが知っていても活かさないため、自分自身ももっと「発信する」ことが大切だと思います。

生徒 B:農業は私たちが今を生きる中でとても大切なことだと思います。私は最初、「農業は大変」とずっと思っていました。この授業で農業の魅力に気付いてとても嬉しいです。農業で頑張っている人がいるから世界はきちんと成り立っているのではないかと思います。

生徒 C:上越市の農業は今、とてもピンチで高齢化し、農業を辞める農家が増えてきています。上越市の農業を継続させるためには農業が楽しくてとてもいい職業だということをPRする必要があります。上越市が魅力的な市になるように将来、頑張ります。

生徒 D:僕のおじいちゃんが農業をしています。今、農業をしている高齢者にスマート農業の説明や紹介をして、また、その僕のおじいちゃんから他の高齢者の広まっていくことが上越市の農業を向上させるために必要なのではないのでしょうか。さっそく、おじいちゃんに紹介してみます。

生徒 E:上越市の農業の魅力向上させるために、若者に興味をもってもらうことが大切です。私自身も農業などの地域行事に積極的に参加していきたいです。その中で体験したことや感じた農業の魅力を他の人に伝えていきたいです。

② 1 学年 歴史的分野 「春日山城は戦国一の要塞といえるのか?～地形と立地から読み解く上杉謙信の山城～」

【学びの実際】

- ・身近な山城についてのレポートを作成する。
- ・上越市埋蔵文化センターや春日山城跡周辺へのフィールドワークに行く。
- ・Google Earth を活用し、春日山城を攻めるルートや支城郡を確認する。
- ・攻めるルートを Google Earth で示しながら、討論を行う。

【 生徒のアンケートと振り返り 】

表 3 単元実施前のアンケート 2021 年 2 月 3 日, n=36 人

| | | |
|------------------------------|---------------------|---------------------|
| 上越の歴史には魅力があるか | 魅力がある 50% (18 人) | 魅力がない 50% (18 人) |
| 上越の歴史と関連付けることで、他の歴史への理解は深まるか | 深まる 56% (20 人) | 深まらない 44% (16 人) |

表 4 単元実施後のアンケート 2021 年 3 月 12 日, n=36 人

| | | |
|------------------------------|---------------------|-------------------|
| 上越の歴史には魅力があるか | 魅力がある 92% (33 人) | 魅力がない 8% (3 人) |
| 上越の歴史と関連付けることで、他の歴史への理解は深まるか | 深まる 94% (34 人) | 深まらない 6% (2 人) |

単元実施後の生徒の振り返り「なぜ、上杉謙信は春日山城を拠点としたのか」の記述は以下である。

生徒 F:春日山城を拠点にすれば、他の敵から攻めにくい奥の方にあるので簡単には落とされなかったから。さらに支城が多いので近くの支城同士で連携できるので守りやすい。近くの使える道が多く動きやすいから。山城だから上から落石や弓を使えば守りやすいから。

生徒 G:春日山城を山に築かれた城で標高が高いです。だから、自分の領地を見渡すにはうってつけでしたし、奇襲が起こることもほとんどなかったと思います。また、周りの土地が広がったので支城や町、海もあるので港を作ることもできます。そうすると貿易や経済が進んで良かったのかなと思いました。周りを見渡すことができ、領地の発展には丁度いい城だったのだと思います。

生徒 H:春日山を拠点とした理由は、春日山城から見晴らしが良く、狼煙や敵の襲撃に気付くことができるから。経済的拠点が近くにあるから。海に近く、食糧に困ることがないから。標高が高い(周りの山も)ため、攻められにくい。

生徒 I:経済的拠点であったから。上杉家の城として1番堅固な城であったから。春日山城を拠点にすることで、上洛する道の北陸道に1番出陣しやすい場所にあ

ったから。武田信玄と敵対していたため、守りやすい拠点の位置にした方が良く
 と思ったから。春日山城は代々、上杉家（長尾家）の本城であるから。
 生徒 J：上杉謙信は、周りに高い山や海などがあるため春日山城を拠点として
 のだと思います。高い山があることで、武田信玄は攻めることが難しくなり、兵士
 の体力も奪うことができます。比較的高い山があるので支城を置くのに最適だと
 考えたのだと思います。そのため、支城を置いて、最新の設備などを備えて
 いたので守ることもできたと思います。そして、様々なところの広範囲に支城を置
 いていたので色々な方法で攻められてもしっかり守ることができたのだと思
 いました。

③ 2 学年 歴史的分野 「明治の上越はどこに鉄道を引くべきか～孝次郎の
 信越線敷設から考える～」

【学びの実際】

- ・ 信越本線を開設する当時、政府や市民はどのような意見をもっていたのか
 を考える。
- ・ 信越本線のルートを Google Earth で示し、画面録画する。画面収録した動
 画を活用し、そのルートを通るメリットを説明する。

【 生徒のアンケートと振り返り 】

表 5 授業実施前のアンケート 2021 年 2 月 8 日, n=34 人

| | | |
|--------------------------------------|---------------------|--------------------|
| 上越の歴史には 魅力があるか | 魅力がある 79% (27 人) | 魅力がない 21% (7 人) |
| 上越の歴史と関連付け ることで、他の歴史への 理解は深まるか | 深まる 94% (32 人) | 深まらない 6% (2 人) |

表 6 授業実施後のアンケート 2021 年 2 月 8 日, n=34 人

| | | |
|--------------------------------------|---------------------|-------------------|
| 上越の歴史には 魅力があるか | 魅力がある 94% (32 人) | 魅力がない 6% (2 人) |
| 上越の歴史と関連付け ることで、他の歴史への 理解は深まるか | 深まる 94% (32 人) | 深まらない 6% (2 人) |

授業実施後の生徒の振り返り「上越の鉄道建設の背景と影響についてまと
 めよう」の記述は以下である。

生徒 K：上越に鉄道が通ったのは室孝次郎などのたくさんの人が 52 億円のお金を
 集めてできたということを知った。鉄道が出来たことによって東京の文化を取り
 入れて進んだ都市になっていった。当時、鉄道が通っていない都市は衰退してし
 まうことが分かった。
 生徒 L：今まであまり上越市の歴史を学んだりしたことがなく、聞いたこともな
 かったので、今日で上越の歴史はけっこうすごいなと感じることができました。
 昔は、鉄道を開通させることが難しかったことも分かりました。
 生徒 M：上越の鉄道建設は多くの人が望み、努力の上で完成したということが分
 かりました。また、鉄道ができたことで上越周辺が発展して今の上越があるこ
 とを理解できました。
 生徒 N：上越と東京が短時間で行き来できるようになったことで、都市の文化が
 直に地方の上越に入ってくるようになりました。また、物流だけでなく、多く
 の人との往来によって日本人同士が互いにつながり合うようになったと思
 います。たとえ、政府にあれこれ言われても自らの意思は「鉄道を敷くことである」と政
 府の活動に最大限尽力した室の心は今の我々の発展の基となっていると思
 います。
 生徒 O：室孝次郎さんが上越（高田）と東京を陸蒸気で結ぼうと考えて実行して
 鉄道を作ったからこそ、今の高田があるんだなと思いました。新潟の上越の高田
 が日本で最初にできた長距離鉄道であるということに驚きました。そして、嬉し
 かったです。

④3 学年 公民的分野 「観桜会にイノベーションを起こそう～クラウドファンディングを活用することを通して～」

【学びの実際】

- ・直接金融と間接金融についての説明を聞く。
- ・新しい金融としてのクラウドファンディングのメリットとデメリットをまとめる。
- ・コロナ禍でも持続可能な上越教育大学附属中学校の伝統でもある観桜会おもてなしプロジェクトのクラウドファンディングの計画を考える。

【 生徒のアンケートと振り返り 】

以下は生徒が考えたクラウドファンディングの計画である。

- ・高田城址公園までの観光バスを用意し、多くの人に観桜会を楽しんでもらう。
- ・オリジナル地図を作成するアプリを活用し、観桜会でクイズラリーを行う。
- ・高田城址公園の堀の水を抜き、綺麗にする。
- ・観桜会に来ることができない人のために VR を作成する。
- ・桜のイルミネーションを豪華にする。花火と桜のコラボレーション。
- ・中学生が観桜会の CM を作る。

表 7 単元実施前のアンケート 2021 年 11 月 20 日, n=30 人

| | | |
|------------------------------|-------------------|-------------------|
| 経済活動は自分たちに直接、関わりのあることだと感じますか | 感じる 90% (27 人) | 感じない 10% (3 人) |
|------------------------------|-------------------|-------------------|

表 8 単元実施前のアンケート 2021 年 2 月 24 日, n=30 人

| | | |
|------------------------------|-------------------|------------------|
| 経済活動は自分たちに直接、関わりのあることだと感じますか | 感じる 97% (29 人) | 感じない 3% (1 人) |
|------------------------------|-------------------|------------------|

【研究の成果と課題】

本研究において、①実践では「郷土愛」に関して、上越市の農業の現状を認識し、農業の魅力を『発信』することが大切、農業という職業を「PR する必要があります」、スマート農業を「おじいちゃんに紹介してみます」というように地域社会に貢献しようとする生徒の記述を読み取ることができる。「情報活用能力」に関して、調査活動では、映像、写真、音声の記録にタブレット端末を活用することができていた。また、討論の資料は生徒自身が撮影した映像や集めた情報をプレゼンテーションアプリでまとめ、作成する姿が見られた。

②実践では「郷土愛」に関して、生徒の振り返りの記述から上越地方についての事実認識の深まりを読み取ることができる。また、アンケートの結果から「上越の歴史の魅力」についての価値認識を深めたといえる。「情報活用能力」に関して、生徒の多くが Google Earth だけでなく、AR 地形模型を活用し、3D で地形を立体的に捉え、費用がかからないルートや移動時間を短くできる地形的に攻めやすいルートを考えていた。

③実践では「郷土愛」に関して、鉄道敷設が上越地方にもたらした影響を捉え、上越の歴史に魅力を感じる生徒の姿が見られた。「情報活用能力」に関して、上記の②実践と同じように、Google Earth を活用することで、鉄道敷設とその影響を人々の努力や苦勞と結び付けて、具体的にイメージすることができたことが生徒の記述から読み取ることができる。

④実践では「郷土愛」に関して、上越地方の観桜会を盛り上げるプロジェクトを考えることで経済活動における新しい金融を身近に感じることができ

| | |
|------------------|--|
| | <p>た。「情報活用能力」に関して、インターネットでクラウドファンディングの先行事例を調べることで身近な地域と調べた情報を結び付けて、計画を作成する姿が見られた。</p> <p>一方、今後の課題は、④実践でも分かるように、実際にクラウドファンディングで資金を募るところまで計画を精選できず、体験活動を行えなかったことである。また、アンケート内容が精選できておらず、生徒の変容を細かく読み取ることができなかった。今後は、より精緻に実証できるアンケートの作成が必要である。</p> <p>(参考文献)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省 (2010) 「教育の情報化に関する手引き」。 ・ 志村喬・茨木智志・中平一義 (2017a) : 社会科教育における「思考力」の捉え方, 上越教育大学編『「思考力」を育てる—上越教育大学からの提言 1—』上越教育大学, pp. 45—65。 ・ 志村喬・茨木智志・中平一義 (2017b) : 社会科教育における「実践力」の捉え方, 上越教育大学編『「実践力」を育てる—上越教育大学からの提言 2—』上越教育大学, pp. 35—52 |
| <p>研究成果の発表状況</p> | <p>【公開授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年10月26日：公開授業 1年生 社会 地理的分野「上越市の農業の魅力を守るためにスマート農業は必要なのだろうか～農業関係者への意識調査を行う活動を通して～」 ・ 2021年2月21日：ICT公開授業 1年生 社会 歴史的分野 「春日山城は戦国一の要塞といえるのか？～地形と立地から読み解く上杉謙信の山城～」 <p>【研究発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年10月24日：第69回全国社会科教育学会・鳴門社会科教育学会合同研究会 web 発表「21世紀に必要な資質・能力を認識する生徒を育成する社会科授業—AI時代の働き方を考える学習を通して—」 ・ 2020年11月28日：日本社会科教育学会第70回全国研究大会（筑波大会）自由研究発表「地域社会への貢献を考える生徒を育成する社会科授業—上越市のスマート農業を調べる学習を通して—」 ・ 2021年2月13日：新潟県社会科教育研究会社会科授業実践研修「タブレット端末を活用した社会科授業づくり」 ・ 2021年3月7日：フィールドワーク in JAPAN～全国中学校生徒地域研究発表会～「地政学から考える歴史授業」 ・ 2021年3月27日, 第15回実践交流会 (E. FORUM 第14回連続研究会「学校教育におけるICT活用」との合同開催) での発表 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年, 東書教育賞入選「歴史を学ぶ意義を実感する中学校社会科歴史的分野の単元開発—産業革命時代からAI時代を考える授業を中心として—」 ・ 教育出版, 分担執筆, 教師用指導書「中学社会 公民 ともに生きる」 ・ 2021年, ロイコ認定ティチャー取得 |

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>学校現場や授業への研究成果の還元について</p> | <p>本研究における実践は、当校の研究紀要の実践事例としてまとめるだけでなく、以下の学会や研究発表会、論文への投稿を予定している。また、令和3年度は、本研究の成果を受けて、郊外学習や体験とより密接に結びつけた教材開発、公開授業の実施を予定している。また、次年度はコロナ禍により実施できなかったクラウドファンディングを利用した学校と社会（世の中）を接続する体験活動を取り入れていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本社会科教育学会 71 回全国研究大会（福島大学）での発表 ・日本社会科教育学会の「社会科教育研究」への投稿 ・第 18 回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール（2021 年）への論文投稿 ・東書教育賞への論文投稿 ・ちゅうでん教育賞への論文投稿 ・『「人間力」を育てる－上越教育大学からの提言 6－』（仮題）原稿投稿 |
|-----------------------------|--|